

○185 句目「覆巢憎穀卵」の句に込められている故事

『世説新語』「言語第二」の次の話を踏まえる。

孔文举有二子、大者六歳、小者五歳。晝日父眠。小者床頭盜酒飲之。大兒謂曰、何以不拜。答曰、偷、那得行禮。

孔融被収、中外惶怖。時融兒大者九歳、小者八歳。二兒故琢釘戲、了無遽容。融謂使者曰、冀罪止於身。二兒可得全不。兒徐進曰、大人豈見覆巢之下、復有完卵乎。尋亦収至。

〔二〕魏氏春秋曰、融対孫權使有訕謗之言、坐棄市。二子方八歳九歳。融見収、弈棋端坐不起。左右曰、而父見執。二兒曰、安有巢毀、而卵不破者哉。遂俱見殺。

世語曰、魏太祖以歲儉禁酒、融謂、酒以成禮、不宜禁。由是惑衆、太祖収法焉。二子髻鬣見収、顧謂二子曰、何以不避。二子曰、父尚如此、復何所避。(下略)

(口語訳)

孔文挙(孔融)には、二人の子供があつた。大きい方は六歳、小さい方は五歳であつた。孔文挙が昼寝をしていると、小さい方が枕もとの酒を盗んで飲んだ。大きい方がこれを見て「なぜお辞儀をして飲まないのか」と言うと、小さい方は「盗むのに、どうしてお辞儀をする必要がありますでしょうか」と答えた。

孔融が捕らえられると、朝廷の内外は震え上がった。当時、孔融の子供は大きい方が九歳、小さい方が